

平成 30 年 5 月 25 日

株式会社エスパルスドリームフェリー

駿河湾フェリーの事業撤退に関するお知らせ

株式会社エスパルスドリームフェリーは、平成 31 年 3 月末日をもって、駿河湾フェリーの事業から撤退することと致しました。

駿河湾フェリーは平成 14 年に現在の清水・土肥に航路を変更以来、16 年間に渡って当航路の運航を継続してまいりました。直近の平成 29 年 8 月期実績では、年間輸送人員 173 千人、乗用車台数 29,300 台、バス台数 2,500 台のお客様をお運びし、伊豆と静岡を繋ぐ周遊観光ルートとしての役割を果たしてまいりました。

しかしながら、事業としては燃料費、ドック費用等の維持管理費といった大きなコストを賄うだけの売上を確保することが難しく、様々な経営努力を重ねてきましたが事業損益は平成 17 年 8 月期以降赤字から脱却できず、累積損が膨らみ現在に至っております。

駿河湾フェリーを巡る事業環境は、富士山世界遺産や県道 223 号認定等の追い風をいただく一方、道路状況の改善や貸切バス料金のルール変更は当航路にとっては逆風となり、天候の先鋭化も含めて外部要因の変動に集客が左右される事業特性はいかんともし難く、今後はさらなる燃料費の上昇等も想定されることから、断腸の思いで弊社フェリー事業の継続を断念し、来年 3 月末をもって本事業から撤退することと致しました。

今回の決定に当たっては親会社である鈴与株式会社とも相談を致しましたが、最終的に民間企業としてこの事業を継続していくことは困難であるとの結論に至りました。

もとより本航路が伊豆と静岡の観光にとって必要不可欠な航路であることは十分に認識しており、弊社及び親会社鈴与株式会社にとって撤退は苦渋の選択でありました。伊豆・静岡を訪れる多くの皆様や、観光関係者の皆様のご期待に応えることができずにこのような結果となりましたことを、深くお詫び申し上げます。

これまで駿河湾フェリーにご乗船いただきました数多くのお客様に感謝申し上げますとともに、来年 3 月末まで、引き続きご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお弊社の清水港遊覧船事業、水上バス事業や運航受託の事業は、今後も継続致します。